

平成30年（2018年）の天候

この資料は速報値であり、後日変更される場合があります

2019年1月4日
札幌管区气象台 気象防災部
地球環境・海洋課

・年(1～12月)『高温・多雨・寡照』2年ぶりの高温・多雨、5年ぶりの寡照

北海道 22 地点平均の平年差(比)は、気温は+0.6℃で平年より高かった。降水量は 121%で平年よりかなり多かった。日照時間は 97%で平年より少なく、2013 年以來の寡照となった。

・冬(平成 29 年 12 月～平成 30 年 2 月)「並温・多雨(少雪)・寡照」積雪の道内記録 48 年ぶり更新

冬型の気圧配置や低気圧の影響で雪や雨の降った日が多く、12 月 25～27 日は発達した低気圧の通過とその後の強い冬型の気圧配置で大荒れの天気となり、広い範囲で強風や大雪による住家の損壊や交通障害などが発生した。また、12 月上旬に低温が続いたことや 1 月以降に北海道西岸で低気圧が度々停滞するなどして、日本海側や太平洋側西部で積雪の深さが平年に比べかなり大きくなった所もあった。

・春(3～5 月)「高温・多雨・並照」4 年連続の暖かい春。記録的な積雪も雪解け進む

3 月上旬は低気圧の影響で雨や雪の降った日が多く、3 月 9 日はこの時期としては記録的な大雨となり各地で融雪洪水害が発生した。また、5 月上旬はオホーツク海高気圧の影響で、旬平均気温は平年より低くなった。その他の時期は高気圧に覆われる日が多く、春の気温は 4 年連続で平年より高くなった。

・夏(6～8 月)「並温・多雨・寡照」不順な天候。前線が停滞して記録的な大雨で災害も

6 月上旬や 7 月下旬頃は高気圧に覆われて気温は高く経過した。特に 7 月 29 日から 4 日間連続で猛暑日となった所もあった。一方、上空の寒気やオホーツク海高気圧の影響で低温となる時期も多かった。8 月中旬には北海道の上空約 1500m に 10 月上旬並の寒気が入り、太平洋側東部の内陸を中心に最低気温が 5℃以下となるなど平年を大きく下回る日もあった。また、台風から変わった低気圧や前線の影響で大雨となる日が多かった。7 月 1～5 日と 8 月 13～16 日は、前線が北海道付近に停滞したため記録的な大雨となった所があり、浸水や河川の氾濫などによる被害が発生した。

・秋(9～11 月)「高温・少雨・多照」5 年ぶりの高温、顕著な高温で観測史上最も遅い初雪の地点も

9 月 5 日は台風第 21 号の接近により、10 月 1 日は台風第 24 号の接近により日本海側や太平洋側で大荒れとなるなど、9 月上旬と 10 月上旬は、台風や低気圧の影響により大雨となる日があった。9 月中旬から 11 月中旬にかけては、高気圧に覆われる日や南から暖かい気流の影響を受ける日が多かった。特に 10 月下旬から 11 月上旬は旬平均気温が平年よりかなり高く、初雪が平年より大幅に遅くなった所もあった。

・初冬(12 月)「並温・並雨(並雪)・寡照」上旬は寒暖差大きくなるも、月の気温は平年並

この期間の天気は、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で日本海側を中心に雪の降った日が多かったが、オホーツク海側南部や太平洋側東部では晴れた日が多かった。気温はいずれの旬も平年並で、月平均気温も平年並だった。降水量は上旬は平年より多かったが、下旬は少なく、月降水量は平年並だった。日照時間は下旬は平年より少なく、月間日照時間も少なかった。降雪量は上旬は平年より多かったが、下旬はかなり少なく、月降雪量は平年並だった。

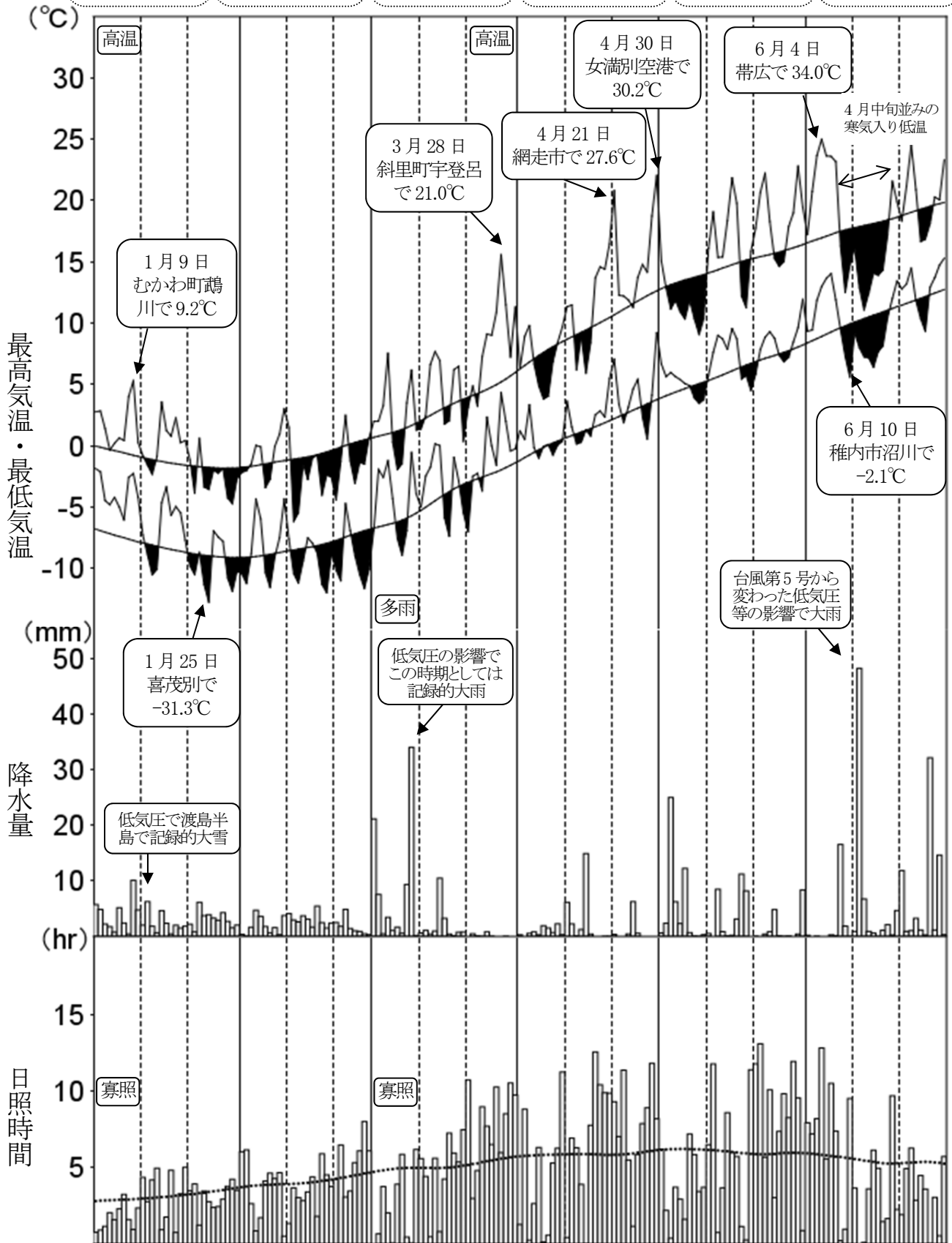
・平成 30 年(2018年)中に月統計値の極値を更新した記録 (統計期間10年以上を掲載、降雪・積雪の0cmは除く)

月平均気温 (高い)	: 3 月 (広尾)
月降水量 (多い)	: 3 月 (苫小牧) 、6 月 (北見枝幸)
月降水量 (少ない)	: 9 月 (雄武、留萌、旭川、網走、岩見沢、紋別)
月間日照時間 (多い)	: 11 月 (函館)
月間日照時間 (少ない)	: 7 月 (浦河)
降雪の深さ月合計 (多い)	: 12 月 (浦河)

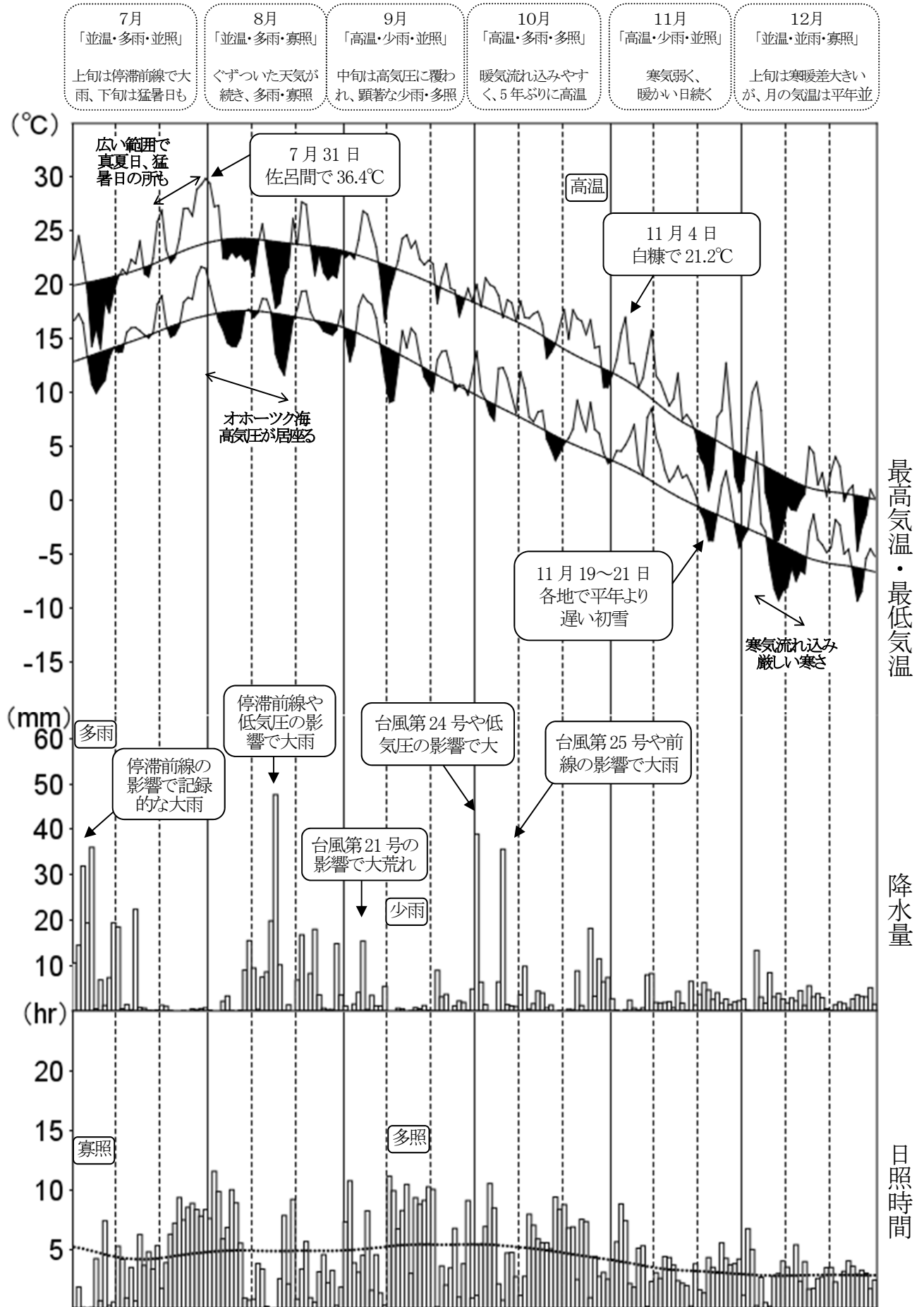
※詳しくは「各月の天候」と「季節の天候」を参照して下さい。

2018年1月から6月までの気象経過図（北海道22地点平均）

1月	2月	3月	4月	5月	6月
「高温・多雨・寡照」	「低温・多雨・並照」	「高温・多雨・並照」	「高温・少雨・多照」	「高温・多雨・並照」	「並温・多雨・寡照」
暖気流れ込み、上旬は歴代1位の高温	幌加内の積雪深、道内記録を48年ぶりに更新	上旬は気象災害相次ぎ、下旬は記録的高温	月後半は暖かい空気に覆われ、真夏日を観測	上旬の低温・寡照が一転、下旬は高温・多照	中旬は顕著な低温、下旬はぐずった天気



2018年7月から12月までの気象経過図（北海道22地点平均）



平成30年(2018年)の気候表

官署名	本年			平年差・平年比(階級)		
	気温 ℃	降水量 mm	日照時間 h	気温 ℃	降水量 %	日照時間 %
稚内	7.3	1114.0	1471.0	+0.5 (+)	105 (+)	99 (0)
北見枝幸	6.6	1354.5	1491.1	+0.6 (+)	118 (+)	96 (-)
羽幌	8.1	1451.5	1477.8	+0.4 (+)	113 (+)	94 (-)
雄武	6.3	1083.5	1633.5	+0.6 (+)	125 (++)	98 (-)
留萌	8.1	1386.5	1514.1	+0.4 (0)	123 (++)	98 (0)
旭川	7.4	1434.0	1503.6	+0.5 (+)	138 (++)	95 (-)
網走	7.1	948.5	1883.7	+0.6 (+)	120 (+)	101 (0)
小樽	8.9	1457.5	1560.7	+0.3 (+)	118 (+)	96 (-)
札幌	9.5	1282.0	1741.6	+0.6 (+)	116 (+)	100 (0)
岩見沢	8.3	1453.0	1618.1	+0.7 (+)	125 (++)	94 (-)
帯広	7.5	1107.0	1986.9	+0.7 (+)	125 (++)	98 (-)
釧路	7.2	1136.5	1914.6	+1.0 (++)	109 (+)	97 (-)
根室	7.0	1174.0	1891.2	+0.7 (+)	115 (+)	103 (+)
寿都	9.1	1490.5	1343.9	+0.5 (+)	127 (++)	95 (-)
室蘭	9.4	1354.5	1666.3	+0.8 (++)	114 (+)	97 (-)
苫小牧	8.3	1456.5	1723.1	+0.7 (+)	122 (++)	101 (0)
浦河	8.5	1323.0	1713.4	+0.6 (+)	123 (+)	93 (-)
江差	10.4	1447.5	1364.6	+0.3 (0)	121 (+)	94 (-)
函館	9.8	1578.0	1715.4	+0.7 (+)	137 (++)	98 (0)
倶知安	7.4	1888.5	1407.0	+0.4 (+)	128 (++)	96 (0)
紋別	7.0	1032.0	1688.1	+0.6 (+)	127 (++)	98 (0)
広尾	7.8	1856.5	1742.5	+1.0 (++)	109 (+)	96 (-)
北海道22地点平均				+0.6 (+)	121 (++)	97 (-)
日本海側10地点平均				+0.5 (+)	121 (++)	96 (-)
ホツツ海側4地点平均				+0.6 (+)	123 (++)	98 (0)
太平洋側8地点平均				+0.8 (+)	119 (+)	98 (0)

注) 「」付きの値は一定の割合以上の欠測を含み、×は欠測を示す。

階級は、--:かなり低い(かなり少ない)、-:低い(少ない)、0:平年並、+:高い(多い)、++:かなり高い(かなり多い)

年統計値の記録(第3位まで)

年平均気温(高い) 第3位 釧路(7.2℃)、苫小牧(8.3℃)
 年降水量(多い) 第3位 函館(1578.0mm)
 降雪の深さ寒候年*合計(多い) 第1位 函館(510cm)

※ 寒候年は2017年8月～2018年7月を示す。

お問い合わせ先

札幌管区気象台気象防災部 地球環境・海洋課
 TEL (011) 611-6174